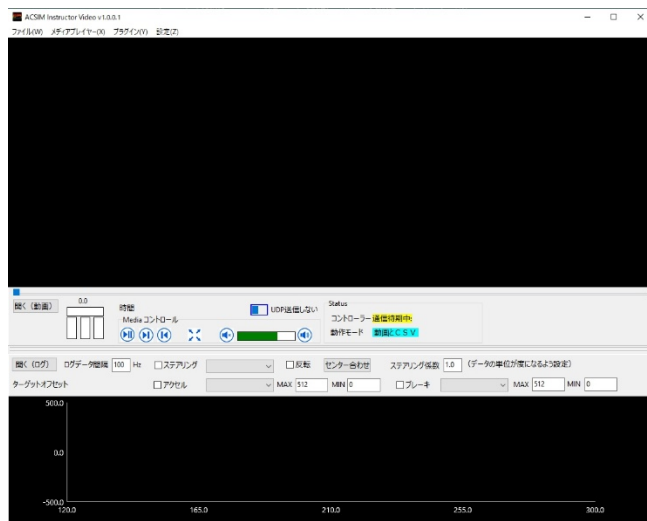


1. アプリケーションの起動

デスクトップのアイコンをダブルクリックか

全てのアプリ→ACSIM→ACSIM Instructor をクリックして起動します。



起動後のイメージです。

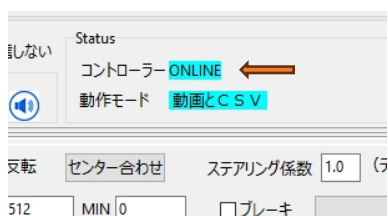
2. コントローラの電源入れ方

ステアリングは原点記憶をしておりませんので、中心位置にしてから電源を入れて下さい。

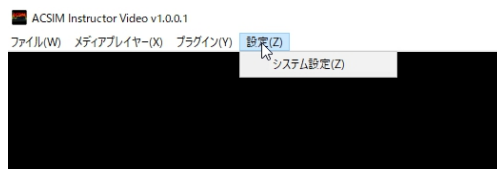
3. コントローラーとの接続

コントローラーの USB を接続し、電源をいれると自動的に接続します。

画面中央付近にある Status のコントローラーが ONLINE になっていれば接続しています。



4. シリンダの設定



設定メニューのシステム設定をクリックし、設定画面を表示させます。

設定

ステアリング		
速度	125	0-125
加速度	200	0-3000
減速度	200	0-3000
中心位置	7827	0-5000

アクセル		
速度	125	0-125
加速度	500	0-3000
減速度	500	0-3000
初期位置	5000	0-5000
最大位置	2500	0-5000

ブレーキ		
速度	125	0-125
加速度	500	0-3000
減速度	500	0-3000
初期位置	5000	0-5000
最大位置	2500	0-5000

UDP通信		
送信先IP	127.0.0.1	xxx.xxx.xxx.xxx
送信ポート	54323	0-65535
受信ポート	54324	0-65535

キャンセル 設定

ステアリング、アクセル、ブレーキ

速度：シリンダの移動速度を設定します。mm/sec

加速度：シリンダの加速度を設定します。(mm/sec²)

減速度：シリンダの減速度を設定します。(mm/sec²)

加速度、減速度は値を低くすると滑らかに制御します。

ステアリング、中心位置の設定です。センターがずれている場合はこの値で調整できます。

ペダル初期位置：ペダルを操作していない時の位置です。(0.01mm)

ペダル最大位置：ペダルを100%踏み込んだ時の位置です。(0.01mm)

UDP 通信

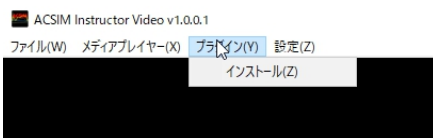
送信先 IP：データを別の PC へ送信する場合の送信先の IP アドレスです。

送信ポート：データ送信時のポート番号を設定します。

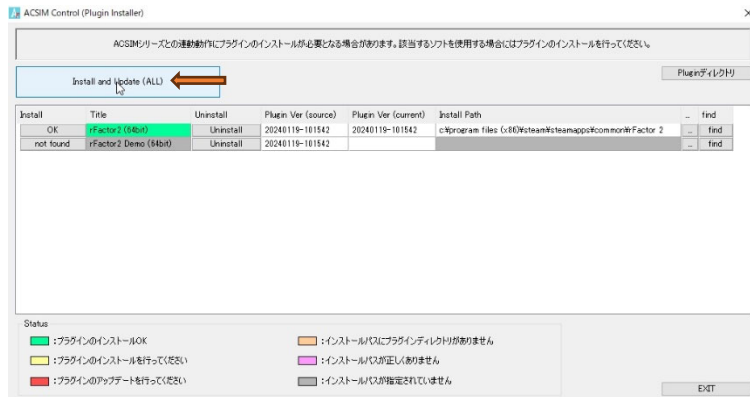
受信ポート：別の PC から受信する場合のポート番号です。

5. ゲームで使用する場合のプラグインの設定

r Factor2



プラグインメニューのインストールをクリックしインストールプログラムを起動してください。

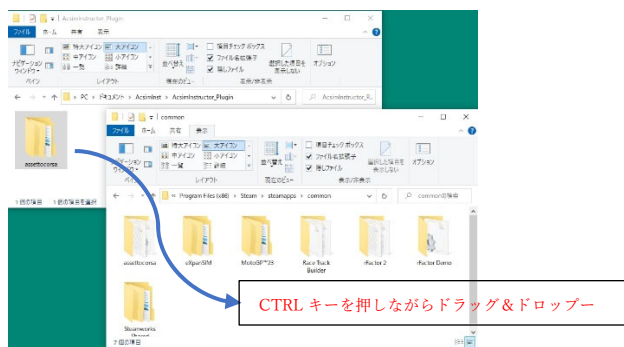


Install and Update をクリックしインストールして下さい。

※rfactor が起動しているとインストールできませんので必ず終了させてからインストールを行って下さい。

アセットコルサ

下記の要領でプラグインをコピーします。

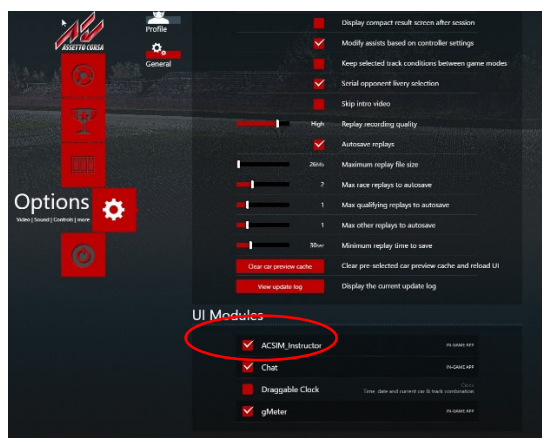


C:\Users\matsu\Documents\AcsimInst\AcsimInstructor_Plugin フォルダに assetocorsa というフォルダ

がありますのでそのフォルダをアセットコルサのインストールフォルダへコピーします。

コピー後、アセットコルサを起動し、Option→General→UIModules で

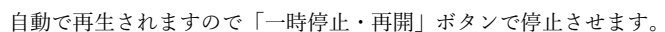
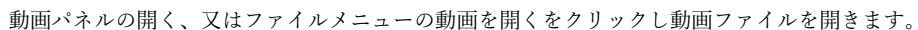
プラグインを使用出来るようチェックを付けます。



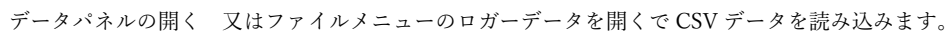
以上で完了です。

iRacing の設定はありません。

動画を讀込ます。



次に動画用のロガーデータ（CSV形式）を読み込みます。



CSV 読込画面が表示されますので、タイトル行とデータ開始行を設定していきます。

上記のデータでは黒矢印がタイトル、赤矢印がデータ開始行に設定していきます。

	Segment T	2:11.257	1:50.226	1:49.558	1:51.459	1:49.483	1:51.350	1:50.588	1:51.768
	Time	GPS Speed	GPS Nsat	GPS LatAcc	GPS LonAcc	GPS Slope	GPS Headin	GPS Gyro	GPS Alt
s	タイトル(V)			g	deg	deg	deg/s		m
	データ開始位置(Z)								
	0.000	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373
	0.050	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373

黒矢印行を選択し、右クリックするとメニューが出現しますのでタイトルをクリックします。

左の項目に「タイトル」と表示されます。

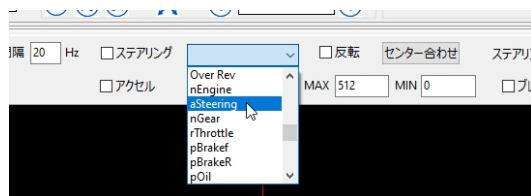
同じ要領で「データ」も設定します。

	Beacon Me	131.257	241.483	351.041	462.5	571.983	683.333	793.921	904.959
	Segment T	2:11.257	1:50.226	1:49.558	1:51.459	1:49.483	1:51.350	1:50.588	1:51.768
タイトル	Time	GPS Speed	GPS Nsat	GPS LatAcc	GPS LonAcc	GPS Slope	GPS Headin	GPS Gyro	GPS Alt
	s	km/h		g	g	deg	deg	deg/s	m
データ	0.000	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373
	0.050	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373
	0.100	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373
	0.150	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373
	0.200	0.0720	11	0.0000	0.0000	37.9324	-56.4076	0.0000	634.6373

以上で読込の準備が完了しましたので画面上の OK をクリックし読込ます。

動画とデータを同期させる。

ステアリング、アクセル、ブレーキのデータを下記の要領で設定します。



データパネルのステアリング表示横のドロップダウンをクリックしステアリングの項目を選択します。

続いてアクセル、ブレーキも設定します。

各項目のチェックボックスをチェックするとグラフ描画部分にグラフが表示されます。

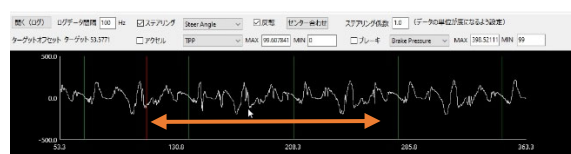


グラフ部分の説明

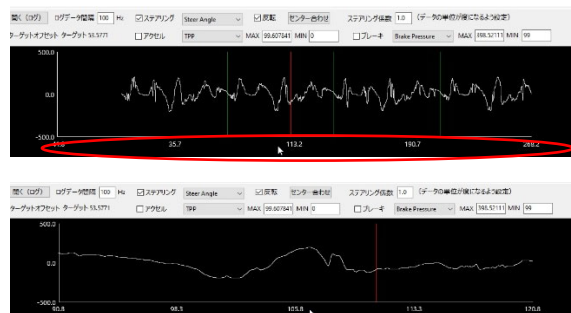
赤い縦軸は現在の再生位置となります。

緑の縦軸は AIM のログの CSV データで表示されタイム計測ポイントとなります。

グラフを左右にドラッグすると左右スクロール可能です。



時間部分でマウスホイールを回すと拡大、縮小されます。



ステアリング操作で切り始めや逆回転するタイミングを動画で確認し、ログデータの現在位置を合わせていきます。

グラフエリアで SHIFT キーを押しながらクリックすることで赤い縦軸が移動します。

おおまかな位置を合わせグラフを拡大し調整して下さい。

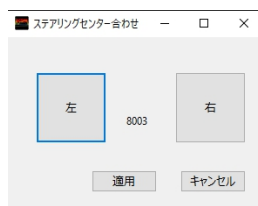
7. その他の操作

ステアリングのセンター微調整

開く (ログ)	ログデータ間隔 100 Hz	<input checked="" type="checkbox"/> ステアリング	Steer Angle	<input checked="" type="checkbox"/> 反転	センター合わせ	ステアリング係数 1.0 (データの単位が度になるよう設定)
ターゲットオフセット	ターゲット 53.5771	<input type="checkbox"/> アクセル	TPP	MAX 99.607841 MIN 0	<input type="checkbox"/> ブレーキ	Brake Pressure MAX 100.52111 MIN 99

センター位置を調整したい場合データパネルのセンター合わせボタンをクリックします。

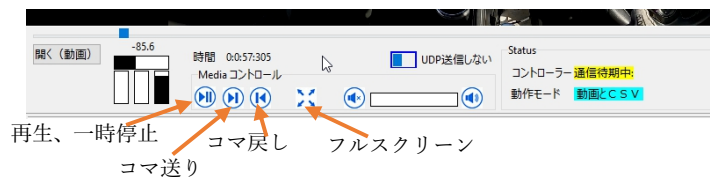
ゆっくりステアリングがセンター位置へ移動します。



左、右をクリックしセンターに合わせて適用を押して設定します。

※適用やキャンセルをクリックした時、動画やデータを読んでいると現在のステアリング位置へ高速で移動しますのでステアリングを離しておいて下さい。

動画のコマ送り、コマ戻し、フルスクリーン操作は以下の通りです。

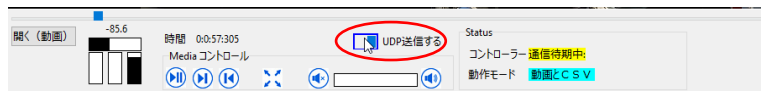


8. UDP 送信

別な PC でステアリングなどを動作させるための機能です。

例えばシミュレータで運転中のデータを別 PC へ送りそこで動作させるものです。

UDP を使用しますので 4. を参照の上 UDP 関連の設定を行って下さい。



送信側の PC で動画パネルの UDP 送信部分を ON にすると設定した IP アドレスへデータを送信します。

受信側は特に操作しなくても自動で受信されます。

※シミュレータソフトが起動している場合はそちらが優先されてしまいますので rFactor2 等は終了させた状態で受信させてください。

